

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

中国四国農政局長賞

団 体 名：農業生産法人

株式会社ミヤモトオレンジガーデン

所 在 地：愛媛県八幡浜市

応募区分：個別経営の部

面 積：4.8ha

構 成 員：14 人

栽培品目：温州みかん、かんきつ類

認 証：GLOBALG. A. P.、ASIAGAP、
個別認証

取組の紹介

【GAP システムと連動した新技術の開発】

- 新規就農から短期間で、みかん・かんきつ類では国内初となるグローバル GAP、ASIAGAP の認証を取得。認証取得に当たり、コンサルタントや特殊ソフトは使わず、自社独自で内部検査などを行い、取得コストを大幅に抑制した。自社で GAP 認証取得支援システムを開発、その後も新技術の開発を継続し、令和 2 年に GAP システムと連動した新選果機を導入。青果のみならず加工品を含めた全ての商品を対象にトレーサビリティを確立している。このほか、地元企業・大学と連携して GAP システムを通じた農業散布用ドローンや収穫ロボットなどを利用し、作業リスク低減や生産性・労働負荷の見える化について協議している。

【GAP の継続に向けた取組】

- 平成 30 年度から毎年新たな社員を GAP プロジェクトリーダーに任命。社員が主体となって GAP に取り組んでいる。JGAP 指導員資格を持つ社員は 6 名、JGAP 団体研修終了 1 名、GLOBALGAP 内部監査員及び検査員資格取得者は 3 名。
- 令和 2 年から他の農家に向けて社員参加で GAP システムの利用方法の説明を行っている。このことで社員の GAP への理解が深まり、社外の利用者は現場目線で GAP に触れることができるという好循環になっている。

【地域と連携した取組の推進】

- これまで 30 農場以上の農家や教育機関に GAP システムを提供し、GAP 取得を支援した。県立高等学校・農業大学の GAP 認証取得支援では、無償で GAP システムを提供している。初めて GLOBALGAP の取得を支援した地元の高等学校の卒業生が農業大学校を経て GAP の価値を理解して入社したほか、県外からも GAP への取り組みを評価して入社する社員がいる。
- 愛媛県内外の行政機関等において、幅広い参加者に向けた講演、発表を行っている。



自社で GAP 認証支援システムを開発



GAP システムと新選果機の連動



「GAP 農業経営 web セミナー・動画配信サービス